

▼燃え盛るたいまつで道路には炎の帯が

▼夜空を鮮やかに染めた花火



炎の帯幻想的に しがらき火まつり

7/26

陶器づくりと生活に欠かせない火に感謝する「しがらき火まつり」は、江戸時代以前から続くとされる伝統行事です。約700名の参加者が竹や木でできた手作りのたいまつを担いで、約2.2キロを歩き、愛宕山頂の陶器神社へ奉納しました。



▲奉納者を応援し祭りに彩りを添える紫香楽太鼓と花火



熱く燃えたこうかの夏

▼準大賞に輝いた地元「KOUGA彩風舞人」のステージ



ステージにぎやか 夜空に花火咲く 水口夏まつり

7/26

「水口夏まつり」の会場J-A甲賀郡駐車場は、浴衣を着た家族連れなどでにぎわいました。ステージでは、バンド演奏やダンスなどが披露され、祭りを盛り上げました。見どころはフィナーレの花火。1500発が打ち上げられ、大輪が夜空を彩りました。

鳴子を手に一心に演舞 ござれGO-SHU!

8/2

江州音頭を現代風にアレンジした曲に乗って踊る「ござれGO-SHU！」が鹿深夢の森など市内5会場で行われました。

第10回を迎えた今年は、過去最高の30チーム、約800名が出演、鳴子を手に華やかな衣装をまとうて演舞し、観客を魅了しました。

▼鳴子を両手に元気いっぱい演舞する踊り子



▼MIX JAMによる元気なヒップホップダンス